「スクールリーダースタンダード(校長・准校長等の指標)」とは

6

学校事務

・財務

渉外

「危機・安全管理」の視点

教員組織のミドルリーダーから、校長・准校長に至るまでに必要とされる6つの資質・能力を、 「第1期」から「第4期」の4段階のキャリアステージに分けて整理しています。

「第1期」 を「リーダー養成期」とし、 「第2期」を 「首席/指導教諭」 、「第3期」 を 「教頭」、「第4期」 を「校長・准校長」として全部で4段階のキャリアステージに分けています。

学校予算や徴収金等の適正な 執行についての知識を有し、 点検を行えるような「学校事 務・財務」の視点

学校教育の充実に向けて、適 切な情報発信や、他校種や地 域など関係者との交流や連携 を企画実施できる「渉外」の 視点

学校全体の課題を明確にし、 解決への方策を「学校経営 1 サイクルにより実行す 経営的視点 る「学校経営的」視点

(課題設定 ・解決)

スクール リーダー

スタンダード

4

リスクマネジメントについて 危機・ の知識と技能を身に付け、学 安全管理 校の安全確保にむけた体制整 備と方針を示すことができる

方針」として策定し、PDCA

組織管理

・運営

一人ひとりの教職員や教職員 集団の課題(強みと弱み)を 把握し、学校教育目標を実現 できる組織にしていく「組織 管理・運営」の視点

0.0

3 人事管理 ・人材育成

教職員の模範となる規範意識 を身に付け、教職員の育成の ための指導力や、適正な評価 をしていく「人事管理・人材 育成」の視点

校長・准校長

教頭

首席・指導教諭

首席、指導教諭として校内外の組織を横断して指 導性を発揮する

リーダー養成期

校内のミドルリーダーとして、担当組織の中心と して業務を遂行する

「大阪府教員等育成指標」について

「スクールリーダースタンダード(校長・准校長等の指標)」

大阪府教員等育成指標について OSAKA教職スタンダード スクールリーダースタンダード

			1				
		1 経営的視点 (課題設定・解決)	2 組織管理・運営	3 人事管理・人材育 成	4 危機・安全管理	5 渉外	6 学校事務・財務
第 4 期	維	○中・長期的な学校経営ビジョンを策定し、教職員に示すことができる。 ○学校内外の状況や課題を 適切に把握し、対応策を 講じることができる。 ○課題解決に向けて、教育 の情報化を進めるとと指 導・助言を行い、ビジョ ンを実現できる。	○学校目標達成のために、多様な人材を活用し、協働的な組織運営を進めることができる。 ○授業改善のための体制を構築し、目標達成のために具体的な取組みを進めることができる。 ○人権の尊重や子どもの指導・支援について、問題事象の未然防止も含め、計画的に行うための組織づくりができる。	○教職員の育成ステージに応じ、指導・助言するなど人材育成を行うことができる。 ○教職員の模範となるとともに、教職員の資質・能力の向上のために指導・助言ができる。 ○ICTの積極的な導入による業務効率化や外部人材の活用など、学校における働き方改革の取組みを推進することができる。	○子どもの安全・安心、学校の危機管理につなって、学校体制を整備する、とと係情報を呼吸がある。 ○管理体制が一分であるか常に行うと対応方針を元うと対応方針を元うと対応方針を元うが報知を対応が報望を対応が報告を主まし、がでいます。 ○教育一をるととなって、教育のできる。 ・教育のできる。	○学校の課題を解決する ために広く学校内外に おいてネットワークを 構築することができる。 学校内外を活用し、学できる。 の学校内外に対して説明 方を、 の学校内果たし、適切に 情報を発信することが できる。	○学校に係る事務及び対外的な事務が、遅延なく適切に処理されていることを常に点検し、適正な状態を保持できる。 ○必要な予算の確保、執行を計画的かつ適正に行うことができる。
第 3 期	教	 中・長期的な学校経営ビジョンを策定し、校長に 提案することができる。 ○学校全体の課題を把握し、 対応策を提案するなど、 校長を補佐することができる。 ○学校目標に基づき、進捗 状況を把握し、計画を進 めることができる。 	○学校目標達成に向けて、活用する多様な人材とコミーケーションを図り、協れるよう、校長を補佐することができる。 ○授業改善のための効果的な関係のを提案し、組織運を進めることができる。 ○人権の尊重を計画的に行うための組織づくりにしけて、校長を補佐することができる。	○教職員の育成ステージに応じ、校長と相談しながら指導・助言するなど、大材育成に努めることができる。 ○教職員の模範とながるともに、校長を補佐し、教職員の模範とはの資質・能力の向上のために指導・助言ができる。 ○学校における働き方改革の取組みの推進のために、教職員の推進のために、教職により、適切に助言することができる。	○子どもの安全・安心、学校の危機管理について、学校・家庭博し、進 と	○学校の課題中力を構行う たるように、一定を行う では、では、では、では、では、では、では、では、では、できないでは、できないで、では、できないで、では、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できる。できないで、できる。できないで、できないで、できる。できないで、できる。できないで、できる。できないで、できる。できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないで、できないでは、できないできないできないできないできないできないできないでは、できないでは、できないでは、できないでは、できないできないでは、できないではないでは、できないではないではないではないではないではないではないではないではないではないでは	○学校に係る事務及び対外 的な事務を自ら遅延なく 適切に処理するとともに、 点検を行うことができる。 ○必要な予算の確保、執行 を点検し、適切に行うこ とができる。
第	首席	○中・長期的な学校経営ビジョンを理解し、教職員の意見をまとめながら、取組みを進めることができる。 ○学校全体に関わる課題を 把握するために、情報収集を行うとともに、教職員の意見等を取りまとめることができる。 ○学校目標に基づき、学校が直面する課題を認識し、学校全体のアクションプン件成に積極的に関わるともにくなりまとせるともにとができる。	○一人ひとりの教職員の強み・弱みを踏まえ、組織全体の特色を意識し、協働的な組織づくりを進めることができる。 ○授業力向上に対する取組みを進めることができる。 ○人権の尊重や子どもの指導・支援を計画的に行うための組織づくりに向けて、取組みを進めることができる。	○教職員の育成ステージに応じ、一人ひとりの教職員の 気持ちや立場を理解しながら、適切な指導・助言を行うことができる。 ○コンプライアンスの意識の向上に向けて、校内におけて、校内におけて表換に対しとができる。 ○教員の業務量について把握し、適切に助言することができる。	○危機・安全管理に対する 教職員の意識を高めるために、適切な指導・助言を行うことができる。 ○学校安全に関わる研修等を企画し、実施することができる。 ○個人情報の適正管理について、改指導・助言を行うことができる。	○家庭・地域・関係諸機 関との連携の核として、 行動するごとができる。 ○家庭・地域・関係諸機 関との、積極的な流 を推進することができる。 ○家庭・地域・関係諸機 関に、積極的に情報発 信するごとができる。	○学校・学年及び対外的な 事務を統括し、遅延なく 正確・丁寧に処理するこ とができる。 ○学校予算の制度や事務執 行について知識を持ち、 経費の節約や予算の効 果費効率的な執行につい て、助言を行うことがで きる。
2 期	指導教諭	○中・長期的な学校経営ビジョンを理解し、取組みを進めることができる。 ○学校全体に関わる課題を出まるために、情報収集を行うとともに、教職員の意見等を取りまとめることができる。 ○学校自暦する課題を認識し、学校全体の7月ションプラン作成に積極的に関わるとともにその推進役を果たすことができる。	○ICTを活用した成果や課題の共有・改善を図り、各教員が主体的に取り組む環境づくりを推進することができる。 ○研究討議会を進行したり、他の教員の授業を分析し、助言したりすることができる。 ○教員の授業を観て指導・助言するとともに、授業改善に向けての組織的な取組かを進め、目標達成のための研究体制を整えることができる。	○教員個々の実態を把握し、 授業改善に向けて適切に指導・助言するとともに教員 の意欲を引き出すことができる。 ○コンプライアンスの意識の向上に向けて、校内にあける研修を企画して、校内実施することができる。 ○授業力向上や効果的なICT の活用について、教職員の 意識を高めるとととができる。	○危機・安全管理に対する 教職員の意識を高めるために、適切な指導・助言 を行うことができる。 ○学校安全に関わる研修等 を企画し、実施すること ができる。 ○個人情報の適正管理について、改善調言を行うことができる。	○家庭・地域・関係諸機関、 関係諸して、 ・地連る域・関係をでき機関とのす。とと、 ・の家庭と関係提供制能を関係を対する。 ・家庭は、関係提供制能ができる。 ・の所教のできるので、 ・の所教のでするので、 ・ので、 ・	○学校・学年及び対外的な 事務を統括し、遅延なく 正確・丁寧に処理することができる。 ○学校予算の制度や事務執 行について知識を持ち、 経費の節約や予算の効 果・効率的な執行につい て、助言を行うことがで きる。
第 1 期	Ĺ	○中・長期的な学校経営ビジョンを理解し、取組みを進めることができる。 ○国内外の教育の動向に関いを持ち、必要な情報を的確に集めることができる。 ○課題設定・解決のためのクリティカルシンキングができる。	○組織マネジメントの手法 (PDCAサイクル、チーム ビルディング、SWOT分析 等)について理解し、その 活用ができる。 ○校内の模範として、研究 [公開] 授業を行い、校内 の授業改善に努めることが できる。 ○人権の尊重や子どもの指 導・支援について、問題事 象の未然防止も含めた組織 的な対応ができる。	○カウンセリングマインドを 持ち、メンタリング、コー チング等の技能を身に付け、 教職経験の少ない教員に助 言することができる。 ○コンプライアシス、法令に ついて、教職経験の少ない教 員に助言することができる。 ○周囲に適切な助言ができ、 管理職等に相談しながら、 機能的な組織づくりに貢献 することができる。	○リスクマネジメント、クライシスマネジメントの知識と技能を身に付け、安全管理のための適切な対応ができる。 ○学校における危機管理に係る取組みを推進することができる。 ○危機管理に向けて、学校の組織活動における役割を意識し行動できる。	○他校種や地域など学校 内外において様々な人 と関わりた、課題解決に 生力できる。 ○他校種や地域など学校 外の様な働きである。 ○学校内外に対して説明 責任を発信することが できる。	○校務に必要な文書や資料等を作成する際にICTを活用することについて、経験の少ない教職員に適切な助言ができる。 ○学校予算、学校徴収金等について知り、経費の節約や予算の効果的・効率的な執行を行うことができる。